



学校安全便り

第9号 担当：佐藤

◆◆◆◆ もうすぐ冬休み 安全に過ごすために ◆◆◆◆

明日から冬休みです。年末年始の行事があり、家族や親戚と過ごす時間を楽しみにしているお子さんも多いのではないのでしょうか。事故なく過ごし、新たな気持ちで新年を迎え、3学期、元気に登校してくることを職員一同願っています。

各学級で冬休みの安全な過ごし方については担任から指導しました。ここでは、特に冬に気を付ける必要があることを2点お伝えします。

交通安全 “道路の凍結による危険度アップ”



道路の凍結により、歩行者も自転車も滑って動きを制御できなくなることがあります。寒い中で歩く子どもたちには帽子や手袋の着用の呼び掛けと、凍結時には自転車は乗らないようお声掛け下さい。

また、いざという時に逃げる事ができるように目と耳を使って、近くを走る自動車の動きにも気を付けるようにお声掛けください。

その他…秋の交通安全教室から

「車は急に止まれない」

車種や路面状況にもよりますが、時速40kmで走っていた場合、乾燥した路面でも止まるまでに20m以上必要です。



「大型トラックのかげからの飛び出し」

「内輪差」とは？

自動車が曲がる時、前のタイヤより後ろのタイヤが内側を通ります。そのため交差点付近では、自動車に巻き込まれないように気を付けなければいけません。



「内輪差による巻き込み事故の実験」

火災予防…乾燥による火の危険度アップ



寒くなり、空気の乾燥によって物が燃えやすい状態になっています。暖房器具だけでなく、こんろや電子レンジなどの調理器具や電気器具も注意が必要です。また、化繊の服も注意が必要です。服に火がついたら、あっという間に火が回ることもあります。学校では理科や家庭科で火を使用する際にはフリース等の化繊の服を着ないように指導しています。

御家庭でも火事を防ぐために、お互い気を付けてお過ごしください。



「防災ポスター（6年国語）」の紹介 その3
【火災対策 これがかんぺき！】



作：佐々木晴羅さん、高橋茉那さん、遠藤寛太さん

出火原因について、消防庁のデータが紹介されていました。グラフを見てみると…

- 出火の原因は？
- 1 たばこ (3,414 件)
 - 2 たき火 (3,095 件)
 - 3 こんろ (2,852 件)
- (令和元年 消防庁のデータより)

寝ながらたばこを吸って火事になったり、ポイ捨てのたばこの火が枯草に燃え移ったりして火事になるという話をよく聞きますね。

たき火はキャンプブームも影響しているのでしょうか…

鍋がおいしく感じられる季節、こんろを使う機会も多くなると思います。気を付けなければいけませんね。

また、火事を出さないポイントとして、こんなことが書いてありました。

- ・たばこのポイ捨てはしないこと
 - ・風が強い火はたき火をしないこと
 - ・料理中はこんろから離れないこと
- など

なるほど！ 大変参考になりました。

『けがが発生場所マップ』

10月から養護教諭の千葉が、子どもたちがけが（擦り傷や打撲等）をした場所について調べています。校舎図にシールで貼っていくことにより、どこでけがをすることが多いのか一目で分かるようにしています。

その図を見ると一番けがの発生が多いのは校庭でした。けがをしないで遊ぶことができればよいのかもしれませんが、子どもたちが寒さに負けずに外で元気に遊んだ証拠であり、コロナ禍を脱し、外遊びをする児童が増えたことは喜ばしいことだとも言えます。

心配なのは、教室内でけがが多いことです。外で遊ぶことができない日に教室内で鬼ごっこやじゃれ合いがエスカレートしてけがをすることが多いようです。教室には机や棚の角、電子黒板などがあり、ぶつかり方によっては大けがにつながることもあります。どうしたら室内のけがを減らすことができるのか、安全な休み時間の過ごし方を子どもたちと一緒に考えていきたいと思っています。

